

学ぶ喜びを伝えるために

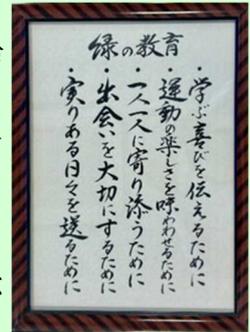
始良・伊佐教育事務所長 上拂 博文

右は所長室に掲げられている言葉である。

事務所だよりのタイトルにもなっている「緑の教育」とは、緑豊かな始良・伊佐地区の自然にちなんで付けられ、また、人間と自然の融合を図り、生涯にわたって豊かな心をもつ人づくりを進める始良・伊佐地区の教育を象徴する言葉である。

それに続く5つの言葉。緑の教育の意義・目的と同時に、本地区で大切にしてきた教育観なのだとして受け止めている。

今回は、1学期に行われた管内小中学校の研究授業に係る出来事を「学ぶ喜びを伝えるために」と重ねて記しておきたい。



●「もう一度、模擬授業に付き合ってもらえませんか。」

公開授業の前日に、同僚（学年部）の教諭に対して発した授業者の言葉。

●「今日の授業が一番良かったね。」

フレッシュ研修の代表授業を終えた初任者を見て呟いた同僚（同学年教諭）の言葉。

研究授業に臨むにあたり教師は改めて問い直す。

「どうすれば児童生徒に本時、本単元（題材）を学ぶ喜びを伝えることができるか。」

授業単元（題材）のねらい、学び取らせたい内容（本質）、指導に当たっての留意点等を児童生徒の実態を踏まえ整理する。その上で本時の授業のねらい、内容、そして児童生徒が主体的に学びたくなるように、さらに対話的に学び、新たな発見、創造によって学びが深まるように、教材・教具、発問、場の設定等の働きかけを検討する。

次に、同僚を児童生徒役にした模擬授業や他の同学年学級での授業で検証してみる。

この授業改善に向けた一連の取組（日本の先輩教員も大切にしてきた授業研究）によって、教師としての新たな発見、創造が生まれ、学ぶ喜びを味わうことになる。さらに、それを分かち合える同僚がいることで、学ぶ喜びは一層大きいものになる。

このプロセスが教師として学ぶ醍醐味であり、教師だからこそ味わえる喜びである。そしてこの喜びを教師が味わっているからこそ、子供にも同様に伝えたいとなるのだ。

研究授業に係る研修が、教師の主体的・対話的で深い学びになっていたからこそ生まれた上記の発言。2つの公開授業は、研修観の転換が求められる中、よりよい授業への「問い」から始まり、教師同士の対話を重視し、互いに学び合うことを目指し行われてきた（日本の伝統でもある）授業研究の価値と「学ぶ喜びを伝えるために」教職員が一体となって緑の教育を実践している様子が感じられる嬉しい出来事だった。

次回は「運動の楽しさを味わわせるために」行われている緑の教育にふれてみたい。

県有施設の利用促進を!～この夏、是非ご活用ください～

7つの県有常設展示施設において、県内にお住まいの小・中・高校生（18歳以下）は、土・日・祝日の入場料が無料となります。施設を利用し、郷土についての学びを深め、ふるさとを愛する心を育みましょう。※ 入場時に、年齢や住所を確認できる書類の提示が必要です。

歴史・美術センター黎明館【鹿児島市】

県立博物館プラネタリウム【鹿児島市】

フラワーパークかごしま【指宿市】、上野原縄文の森【霧島市】

霧島アートの森【湧水町】

屋久島環境文化村センター【屋久島町】

奄美パーク【奄美市】



【県HP>健康・福祉>青少年>青少年育成】

「学習者主体の授業」づくりの教科書として活用を！！

令和6年3月21日に「学びの羅針盤」が改訂されました。今回は、冊子での配布はなく、県教委のHPから各自ダウンロードして活用することとなっています。改訂のポイント等について紹介します。

【令和6年度版「学びの羅針盤」改訂のポイント】

Point① 「学習者主体の授業」の必要性や意義、具体的な進め方などをQ&A方式で説明

- ・ 多数の参考資料も掲載しています。

Point② 関係機関作成の参考資料へのハイパーリンクの設定

- ・ 各種関係法令、文部科学省や内閣府、独立行政法人教職員支援機構(NITS)、鹿児島県教育委員会、総合教育センター等各種関係機関の参考資料を参照することができます。

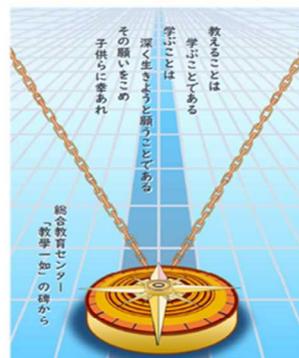
Point③ 「学習者主体の授業」に関する鹿児島県内の5つの授業実践例の紹介

- ・ 小学校(理科・外国語活動)、中学校(国語・社会・数学)の実践例について、「学習者主体の授業」づくりのポイントや子供にどのような自己選択・自己決定の機会を確保したのか等具体的に紹介されています。小学校理科は、始良市立建昌小学校での実践例です。

Point④ 「学習者主体の授業」を進める上での大切な視点からの授業改善

- ・ 「授業研究」「生徒指導」「特別支援教育」「教育DX」4つの視点から、授業改善のヒントを紹介しています。

学びの羅針盤



令和6年3月
鹿児島県教育委員会



データのダウンロードは
こちらから

【学力向上担当おすすめのページ】

P12, 13では、「教師主導の授業」と「学習者主体の授業」における子供の様子や教員の姿勢が紹介されています。日頃の授業づくりや授業後の振り返り等でチェックリストとして活用できるページです。「学習者主体の授業」づくりのために、ぜひ御参照ください。

【「学びの羅針盤」活用に関するキーワード】

5月に実施した地区小・中学校教頭研修会で、「学習者主体の授業」づくりに向けた、「学びの羅針盤」の活用について協議しました。左記は、その際出てきた意見をテキストマイニングでワードクラウド化したものです。「研修」や「授業」での活用はもちろんのこと、「授業づくりや授業参観のチェックリスト」や「保護者への説明」等も活用法として挙がりました。「学習者主体の授業」づくりのヒントが満載の「学びの羅針盤」。ぜひ、各校で工夫した活用を進めてください。



全ての児童生徒の日々の授業の充実のために！

全ての児童生徒の豊かな学びをたくむ 授業づくりスタートブック

～多様な学びの場における日々の授業づくりの充実に向けて～



小・中学校や高等学校における通常の学級、通級指導教室、特別支援学級で学習する全ての児童生徒の豊かな学びをたくむには、日々の授業を充実させることが大切です。
そこで本では、小・中学校及び高等学校の臨場におけるそれぞれの学びの場において、日々の授業づくりの始り点(学習活動や自立)を、それに伴う児童生徒の様子を、導入・展開・終末に分けて整理し、リーフレットにまとめました。
本リーフレットは授業づくりのスタートブックです。日々の授業の計画を立てたり、授業を行った後に改善したりする際に御活用ください。

令和6年3月
鹿児島県教育委員会

授業の「導入」・「展開」・「終末」に分けて整理されています。ぜひ御活用を！



服務規律の厳正確保

他人事 と思いませんか？

わいせつ行為 体罰
飲酒運転 etc

自分事

自分はどうだろう...
う...

として捉えましょう。

魅力ある学校づくり～今こそ取組の確認を！～

- 1 まずは「生徒指導」とは
「魅力ある学校づくり」に取り組む前に、生徒指導の定義について押さえておきましょう。
「生徒指導提要」では、以下のように設定されています。

生徒指導とは、児童生徒が、社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のことである。なお、生徒指導上の課題に対応するために、必要に応じて指導や援助を行う。

【生徒指導の働き（機能）】

- 児童生徒が自身を個性的存在として認め、自己に内在しているよさや可能性に自ら気づき、引き出し、伸ばす
- 社会生活で必要となる社会的資質・能力を身に付けることを支える



学校の教育目標を達成する上で重要な機能を果たすものであり、学習指導と並んで学校教育において重要な意義をもつもの

- 2 具体的な取組について(令和6年4月 高校教育課学校教育生徒指導班「魅力だより」から)

4 「魅力ある学校づくり」の理念と手法

子供と教師にとって「魅力ある学校」にするために、子供の声を聴く「意識調査」を指標として、教育活動の改善、見直しをする。

キーワード：「全ての児童生徒が対象」、「全ての教職員で行う」、「全ての教育活動で行う」

①学年の子供たちの1年後のゴールイメージ、その成長を支えるための具体策を話し合う。

<ゴールイメージの例>

- 自分のよさや可能性を活かしていきいきと活動する。
- 全員が、毎日満足して下校する。
- 互いの意見を尊重しながら、自治的な活動ができる。
- 主体的に協働的な学びを進めることができる。
- 一人一人が成長を実感し自信をもって卒業を迎える。

<成長を支えるための具体策の例(教師が取り組む)>

- 全員1日1回は、意識して認めたり誉めたりする。
- 成長を実感できるようキャリアパスポートにする。
- 委員会活動や係活動の企画・運営を委ねてみる。
- 授業、行事などで「ふりかえり」を習慣化し、肯定的なコメントを書きフィードバックする。
- 日々の授業で、学び合いの場を必ず設定する。

②「意識調査」により子供の声を聴く

※年度末に調査していなければ学期はじめでも可

学期末に実施（1人1台端末を活用すると効率的）
無記名式、4件法、基本的に学年単位で集計

【意識調査】
現在の学校生活について、あなたほどのように感じますが、当てはまるものを右の1から4の中から選び、その番号(1)だけを行ってください。

	当てはまる 1	どちらか といえば 当てはまる 2	どちらか といえば 当てはま らない 3	当てはま らない 4
ア 学校が楽しい	1	2	3	4
イ みんなで何かをするのは楽しい	1	2	3	4
ウ 授業に主体的に取り組んでいる	1	2	3	4
エ 授業がよくわかる	1	2	3	4

※「1, 当てはまる」に焦点化する！

強肯定評価「1, 当てはまる」の割合が増えるにはどんな取組が必要か？



意識調査結果の分析→「見積もり値」とのスレに着目

数値目標を使ったCHECK・ACT/PLAN
目標値は「希望値」ではなく「見積もり値」に
① 目標値(=希望値)を立てる
② 達成するための取組を考える
③ 改善を図るための具体的な取組方法を考える
④ 目標値(見積もり値)が決まる
⑤ 取組の結果とスレがあったら、どう改善すればこれくらいになるだろう。

③「意識調査」を基に具体策を話し合う。

先生方による話し合いでの共通理解(例)

- 対象は、全ての子供
- 個別指導・個別支援の話にならないようにする。
- 経験値の有無は関係なし。
- どの立場の意見も尊重する。
- 一人一人の考えを受け入れ、認める。
- ダメ出し、否定はなし。
- 大きな負担があるものは採用しない。
- みんなが納得する。

※話し合いで決まった取組を1学期間実施し、7月の「意識調査」結果で見積もり値とのスレを確認しましょう。

○ ポイント

- ① 子供の1年後のゴールイメージを抱く。
- ② 「意識調査」で子供の声を聴く。
→ 「強肯定評価」にのみ着目する。
「強肯定評価」につなげるために、どのような取組が必要か？
- ③ 「意識調査」を基に話し合う。
→ 個別支援の話ではないことに留意！
対象は全ての子供であることに留意



2学期の始めに「意識調査」を行い、どのような取組ができるかを全職員で考え、実践しましょう！

こちらからダウンロードできます。



シリーズ！ 始良・伊佐教育事務所員が紹介する私の元気の出る言葉 ⑬

「名を成すは常に窮苦の日に在り、事に敗るは多く得意の時に因る」(渋沢栄一)

～原著：中国・明末期の書物「酔古堂剣掃(「敗事多因得志時)」～

「物事の成功や、人間としての成長は、困ったり、苦しんだり、窮したりしている時にこそ達成される。また反対に、失敗したり、敗れたりすることの多くは、得意になって慢心・油断している時に起こる。」という意味の言葉です。

大学進学のため、私が高家を離れる際に、今は亡き父親が、紙切れに書いて手渡してくれた言葉です。若い頃は、意味を理解しようともせず、見返すことはほとんどありませんでしたが、今ではお守りのように手元に置いている言葉です。時に、紙切れを見ながら、「辛く、厳しい今こそ努力しよう。うまくいっても調子に乗るなよ。」と自らを律しつつ、前進するパワーをもらっています。(M. S)

「夏の事故」に注意!!

「夏」、「多発」、「事故」、「児童生徒」をキーワードにしてネット検索をしてみると、上位に出てくるのが「**熱中症**」、「**交通事故**」、「**水難事故**」です。毎年様々な対策を講じているにもかかわらず、残念なことに、これらの事故で小・中学生が命を落とすケースが後を絶ちません。これらの事故による被害児童生徒を出さないよう、引き続き、未然防止に注力してまいります!!



大人も子供も「**正常性バイアス** (※)」を取り除こう!!

※ 人間が生活する上での多くの判断や心理的ストレスの全てに対して、過敏に反応しなくても済むように、ある程度の範囲は正常なものとして考え、ふるいにかけることで、「心の平穏」を守ろうとする脳の機能で、「自分は安全」「これくらいなら大丈夫」と考えてしまう。(「文部科学省×学校安全」より)

対策①

「**我がこと**」、「**我が身にも起こりうること**」と感じてもらえよう、様々な機会を捉えて、**繰り返し啓発**しましょう!! (夏休み中も安心メール等で日常的に注意喚起するなど)

全校児童生徒など、全体に伝えるだけの指導で終わっていませんか?!

対策②

過去の事故発生事例(発生要因)等を踏まえ、**具体的な指導・注意喚起**に努めましょう!!

事故発生の傾向を知っておくことで、適切な予防策を講じることが出来ます!!

熱中症



- ① 事故防止について教職員や部活動の指導者等で共通認識
- ② 暑さ指数(WBGT)に基づいて活動実施を判断
- ③ 児童生徒へ適切に指導

学校教育活動における熱中症事故の防止について(R6.5.7, 県教育委員会)

交通事故



【児童生徒への重点指導内容】

- ① 道路への飛び出しの厳禁
- ② 安全確認厳守・道路の正しい横断
- ③ 自転車乗車時のヘルメット着用
- ④ 「自転車安全利用五則」の徹底

令和6年度児童生徒等「交通事故0月間運動」実施要綱(R6.5.28, 県教育委員会)

水難事故



【児童生徒への重点指導内容】

- ① 遊泳禁止区域や危険区域では、絶対に「泳がない。」「遊ばない。」の徹底
- ② 一人で水泳・水遊びをさせないことの徹底
- ③ 海や川で泳ぐことに対する危険予知・危険回避能力の育成

令和6年度児童生徒等「水難事故防止運動強調期間」実施要綱(R6.5.29, 県教育委員会)

指導者が**十分徹底できていない**と考えられる対策

- 活動時間の変更、縮減
- 身体冷却(送風、氷の準備)
- 暑熱順化
- 活動前の水分補給
- 健康チェック
- WBGTの活用

(スポーツ現場における熱中症予防に関する実態調査(2024), 日本スポーツ協会)

昨年、本県における児童生徒の交通事故は**8月に最多発生!!**
小学生は横断中、中学生は自転車に起因する事故が最多!!
(県警による統計資料, R6.2月未現在)

子供の**水難事故の6割は、河川と湖沼池!!**
大人(家族連れ等)がいても事故数は多い!!
“大人がいるから安心”ではなく、**大人・子供共に安全管理を行うことが重要!!**
(「No more 水難事故」, 河川財団)



学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き(R6.4更新, 文部科学省)



水難事故2024 (公益財団法人河川財団)

令和6年度 地区研究公開校の取組のポイント紹介

学校名	研究領域(教科等)	公開日	研究テーマ等	取組のポイント
始良市立始良小学校	道徳教育(地区道徳教育研究会会場)	令和6年6月28日	考え、議論する道徳を目指して～道徳の特質に応じた「協働的な学び」の充実～	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3つの指導観(価値観・児童観・教材観)を明確にした授業での発問の工夫 ○ 協働的な学びに向けた指導方法と話し合い活動の工夫 ○ 道徳性を養うための環境整備の工夫
始良市立加治木中学校	道徳教育(地区道徳教育研究会会場)	令和6年7月12日	自他ともに尊重し、豊かな心を育む道徳教育の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単位時間のねらい(指導観)の明確化(まとめシートの活用をととした生徒の実態把握) ○ 問題解決的な学習(発問の工夫), 疑似体験的な学習 ○ 効果的なICTの活用
霧島市立中津川小学校	学力向上(小規模校・複式指導)	令和6年10月10日	児童に確かな学力をつける算数科の授業づくり～ガイド学習及びICT活用を通して～	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低学年から高学年へと発達段階に応じたガイド学習を通じた児童の思いや考えを表現し合える授業づくり ○ ICTの効果的な活用を図ることにより、問題を発見・解決する力や自分の考えを形成する力の育成
始良市立西始良小学校	学力向上(ICT活用)	令和6年11月27日	ICTを効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びを目指した授業づくり～算数科の学習を通して～	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人学びの充実のための手立て ○ ICTの活用を通じた環境づくりや教材の工夫 ○ ロイロノートを使った継続的な振り返り
湧水町立吉松小学校	学力向上(算数科)	令和7年1月28日	自ら課題と向き合い、他者と協働しながら課題解決に向けて学習に粘り強く取り組む子供の育成～「数学的な見方・考え方」を働かせる授業を通して～	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら問いをもつことができる学習課題の工夫 ○ 自らの考えを形成しやすい学習形態の工夫 ○ 対話や協働の必要性がある手立ての工夫 ○ 視点を意識した振り返り
始良市立柁城小学校	学力向上(ICT活用)	令和7年2月13日	自立した学び手を育てる学習指導の在り方～学び方の自己決定と振り返りの習慣化を通して～	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学び方を自己決定する場の在り方(自己決定の場面や視点, ICT活用の工夫) ○ 学び方を振り返る場の在り方(振り返りの場面や視点, ICT活用の工夫)